

はじめに

進捗報告

平井 遥斗

富山県立大学 情報システム工学科

2023年6月30日

はじめに

2/7

はじめに

実用性を考えた時にまだまだ足りない機能、仕様があると考えられるため、それらの追加を行った。

成績の更新機能

今まででは新規登録の時だけにしか成績の登録が行えなかった。
一度登録してしまうと成績が更新できない。
成績を変更できるようにした。

| 授業名 | 成績更新 |
|---------|----------|
| 学籍番号 | 11223344 |
| 教養ゼミ 1 | S |
| 教養ゼミ 2 | C |
| 経済学 1 | A |
| 社会学 1 | B |
| 法学 1 | B |
| 科学技術史 | S |
| 環境論 1 | C |
| 日本語表現法 | C |
| 比較文化学 1 | S |
| 健康科学演習 | A |
| 心理学 1 | B |
| 健康科学 1 | C |
| 数学 1 | A |
| 数学 2 | B |
| 物理学 1 | C |
| 物理学 2 | C |
| 化学 1 | A |
| 化学 2 | A |
| 生物学 | C |
| 物理学1演習 | B |
| 数学演習 | B |
| 化学実験 | 選修なし |

図 2: 成績更新画面

図 1: いまの成績一覧

やったこと

はじめに

問題点

今のところ、更新前のデータが蓄積されている状態。
なので更新前のデータを消すか、上書きするなどを行う予定

戻る 成績更新

| | | |
|---------|----------|----------|
| 学籍番号 | 11223344 | 11223344 |
| 教養ゼミ 1 | S | S |
| 教養ゼミ 2 | C | C |
| 経済学 1 | A | A |
| 社会学 1 | B | B |
| 法学 1 | B | B |
| 科学技術史 | S | S |
| 環境論 1 | C | C |
| 日本語表現法 | C | C |
| 比較文化学 1 | S | S |
| 健康科学演習 | A | A |
| 心理学 1 | B | B |
| 健康科学 1 | C | C |
| 数学 1 | A | A |
| 数学 2 | B | B |
| 物理学 1 | C | C |
| 物理学 2 | C | C |
| 化学 1 | A | A |
| 化学 2 | A | A |
| 生物学 | C | C |
| 物理学1演習 | B | B |
| 数学演習 | B | B |
| 化学実験 | 難修力 | A |

- 他にも、成績一覧の表示が見に
くい。
科目の区分ごとに表示すれば見
やすくわかりやすい
- 成績入力の方法も改善の余地あり。
どこにどの科目があるのかわか
りにくくい

図 3: 実際の画面

ログイン時間の記録

ログイン時間

ログインした時間をユーザごとにエクセルに記録できるようにした

具体的にはログインボタンを押した時間をエクセルに記録している。

ログアウト時間

ログアウトについてはログアウトボタンを押した時間をとるだけでは不十分。

タブを閉じた時もログアウトになるためそこを検知して時間を記録できるようにしたい。

さらに、開いているページやコンテンツなどの記録も考えている。

はじめに

時間割作成

多目的最適化を用いて時間割を作成する。

空きコマや投稿日数などを考慮した上で GPA が最も良くなるような時間割を作成、推薦する。

システム側から提案された時間割を選択することで、カンタンにシステム側もユーザの時間割を把握することができる。

そのためにはまずは履修のルールを定式化する必要がある。

ユーザのログイン状況などを考慮した教材推薦

ユーザのログイン状況やどのページを見ているのかなどユーザの状態を考慮してそれに適した教材を推薦する。

この際に、授業中の推薦が行われないように、ユーザの時間割を考慮した推薦を行う。

他にも、ユーザの通学状況なども考慮できれば、バスの中や電車の中での勉強も推薦できるのではないか

はじめに

これから

- 実用性を考えた機能の追加を少しずつしていく.
- 時間割推薦を過ごしずつ進めていく.
- ユーザ情報の取得と、取得した情報どのように処理して教材推薦を行っていくかを決める.